

横浜マリントワーと汽車道が 第20回「日本夜景遺産」に認定されました

全国の基礎自治体で
横浜市が最多！！

一般社団法人夜景観光コンベンション・ビューローが認定する「日本夜景遺産」について、第20回となる今年は新たに8か所が認定され、そのうち横浜市からは「横浜マリントワー」と「汽車道」の2か所が選ばれました。

これにより、日本夜景遺産の認定数は全国で302か所となり、基礎自治体（市町村及び東京23区）別では横浜市が13か所で最多となります。

1 認定について（日本夜景遺産WEBサイトより）

今回の認定では、横浜マリントワー、汽車道ともに「街の観光資源として、自治体と民間が連携しながら育てていくことで「持続可能な夜景観光」へと成長している」と評価されました。

(1) 横浜マリントワー

1961年に横浜開港100周年を記念して建設された高さ106mの横浜のシンボル。みなとみらいから横浜ベイブリッジまで360度の夜景を堪能できる展望フロアや、デジタルアート演出などを行っています。



<横浜マリントワー>
展望フロアからの夜景及び
メディアアートギャラリー

(2) 汽車道

1911年に開通した旧臨港鉄道の廃線跡を活用した約500mの遊歩道で、歴史的な鉄橋やレールを残しながら、横浜港の夜景を一望できる人気の散策路です。地域の歴史的資産を活かした景観づくりと、夜間観光資源としての魅力づくりを行っています。



<汽車道>

※ 日本夜景遺産とは

日本各地に埋もれている美夜景を再発見&発掘、価値を付与し、観光資源として夜景の存在をアピールすることで夜間観光立国化の促進を目的に、2004年に日本夜景遺産事務局が創設したプロジェクト。

(URL) <https://www.yakei-isian.jp/index.php>



<日本夜景遺産HP>

2 認定授与式について

2025年11月27日（木）に開催された「夜景サミット2025in藤沢」にて、認定授与式が行われました。



横浜マリントワー



汽車道

裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



【参考1】新規日本夜景遺産認定地（8か所）

基礎自治体	認定地
横浜市	横浜マリンタワー、自動車道
仙台市	仙台大観音
千代田区	丸の内ハウス
岐阜市	岐阜城
泉佐野市	スターゲイトホテル関西エアポート
伊予市	伊予灘サービスエリア
北九州市	門司港駅

【参考2】日本夜景遺産認定数上位5基礎自治体

順位	基礎自治体	認定数
1位	横浜市	13か所
1位	神戸市	13か所
3位	北九州市	12か所
4位	札幌市	8か所
4位	大阪市	8か所

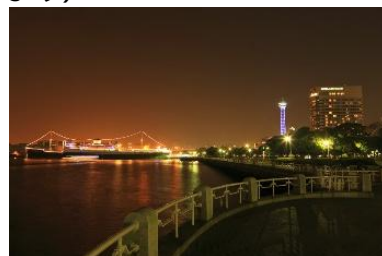
【参考3】その他本市の認定地（11か所）（日本夜景遺産WEBサイトより）



みなとみらい21地区



港の見える丘公園



山下公園



横浜ランドマークタワー「スカイガーデン」



横浜港大さん橋国際客船ターミナル



横浜赤レンガパーク



神奈川県庁本庁舎「キング」



横浜税関「クイーン」



横浜市開港記念会館「ジャック」



横浜ベイブリッジ



工場夜景ジャングルクルーズ

お問合せ先

【日本夜景遺産全般について】

にぎわいスポーツ文化局観光MICE振興課担当課長

石井 幸子

Te1 045-671-4232

【横浜マリンタワーについて】

にぎわいスポーツ文化局観光MICE振興課担当課長

坂田 和行

Te1 045-671-4233

【自動車道について】

港湾局賑わい振興課長

長久 伸子

Te1 045-671-2874



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

